

第3節 SPSSを用いた相関分析

平成29年度全国調査及び平成29年度奈良県調査の学力調査と質問紙調査における相関関係を調べるため、SPSS（統計解析ソフト）による相関分析を行った。

(1) 平成29年度全国調査

学力調査、児童生徒質問紙調査、学校質問紙調査の各項目間の相関関係を調べた。

ア 学力調査の教科間に見られる相関

(7) 学力調査の教科間の相関係数

相関係数が0.6以上であり、相関が見られる。中学校でより顕著である。

【小学校】

	国語A	国語B	算数A	算数B
国語A				
国語B	0.635			
算数A	0.671	0.625		
算数B	0.603	0.630	0.679	

【中学校】

	国語A	国語B	数学A	数学B
国語A				
国語B	0.772			
数学A	0.756	0.699		
数学B	0.673	0.647	0.808	

(イ) 各教科の正答数と各領域との相関係数

各教科の正答数と各領域との間の相関を調べた。

同じ科目間の他、中学校では、国語Aの正答数と数学Aの「数と式」及び「図形」との間に強い相関が見られる。また、数学Aの正答数と国語Aの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bの「書くこと」との間に強い相関が見られる。

【各領域について】

	小学校・中学校 国語	小学校 算数	中学校 数学
領域1	話すこと・聞くこと	数と計算	数と式
領域2	書くこと	量と測定	図形
領域3	読むこと	図形	関数
領域4	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	数量関係	資料の活用

【小学校】

	国語A				国語B				算数A				算数B			
	領域1	領域2	領域3	領域4	領域1	領域2	領域3	領域4	領域1	領域2	領域3	領域4	領域1	領域2	領域3	領域4
国語A正答数	0.431	0.436	0.687	0.944	0.551	0.565	0.404		0.594	0.468	0.462	0.585	0.551	0.450	0.288	0.567
国語B正答数	0.309	0.212	0.482	0.593	0.803	0.900	0.703		0.548	0.466	0.428	0.529	0.576	0.477	0.311	0.598
算数A正答数	0.307	0.219	0.470	0.637	0.549	0.555	0.381		0.910	0.678	0.695	0.856	0.624	0.506	0.317	0.638
算数B正答数	0.303	0.231	0.444	0.557	0.538	0.579	0.393		0.613	0.498	0.441	0.579	0.878	0.719	0.544	0.959

【中学校】

	国語A				国語B				数学A				数学B			
	領域1	領域2	領域3	領域4	領域1	領域2	領域3	領域4	領域1	領域2	領域3	領域4	領域1	領域2	領域3	領域4
国語A正答数	0.781	0.730	0.823	0.917	0.603	0.681	0.695	0.464	0.708	0.710	0.648	0.595	0.518	0.571	0.589	0.388
国語B正答数	0.649	0.607	0.667	0.660	0.814	0.894	0.866	0.597	0.652	0.655	0.600	0.553	0.497	0.546	0.570	0.378
数学A正答数	0.593	0.548	0.629	0.689	0.550	0.644	0.632	0.474	0.932	0.922	0.891	0.770	0.614	0.703	0.707	0.441
数学B正答数	0.543	0.492	0.575	0.598	0.512	0.605	0.582	0.452	0.729	0.763	0.730	0.624	0.758	0.883	0.775	0.627

(ウ) 各教科の正答数と評価の観点との相関係数

教科の正答数と評価の観点との相関について、小学校では、国語Aと最も相関の見られる観点は「言語についての知識・理解・技能」、国語Bと最も相関の見られる観点は「書く能力」である。算数の観点では、「数量や図形についての知識・理解」「数量や図形についての技能」と国語Aとに相関が見られ、「数学的な考え方」と国語Bとに相関が見られる。

一方、算数Aと最も相関のある観点は「数量や図形についての技能」、算数Bと最も相関のある観点は「数学的な考え方」である。国語の観点では、「言語についての知識・理解・技能」と算数Aとに相関があり、国語Bの「書く能力」と算数Bとに相関が見られる。

さらに評価の観点同士の相関について調べると、「言語についての知識・理解・技能」は、同じ国語の「読む能力」との相関が最も強いものの、算数の「数量や図形についての技能」「数量や図形についての知識・理解」「数学的な考え方」との相関が見られる。国語Bの「書く能力」は、同じ国語の「国語への関心・意欲・態度」との相関が強いものの、算数では「数量や図形についての知識・理解」「数学的な考え方」との相関が見られる。

中学校でも、教科の正答数と評価の観点との相関については、小学校とほぼ同様である。しかし、他の教科との相関は、小学校より強く、例えば国語Aは「数学的な技能」「数量や図形などについての知識・理解」との相関係数が0.7を超えている。

評価の観点同士の相関についても、小学校よりも顕著な様子が見られ、国語Aの「言語についての知識・理解・技能」は、同じ国語よりもむしろ数学の「数学的な技能」「数量や図形などについての知識・理解」との相関が見られ、国語Bの「書く能力」についても小学校と同様の傾向であるが、「数学的な技能」「数量や図形などについての知識・理解」との相関は他よりも強く、いずれも相関係数で0.6を超えている。

本分析から、国語の「言語についての知識・理解・技能」「書く能力」は、算数や数学の学力との相関が見られ、中学校ほど顕著であることが分かる。学力向上の方策を考える上で、国語の基礎的・基本的な内容や書く力の向上にいかに取り組むかが、重要なポイントとなるのではないか。

【小学校】

	正答数_国語A	正答数_国語B	正答数_算数A	正答数_算数B	国語A_観点2 話す・聞く能力	国語A_観点3 書く能力	国語A_観点4 読む能力	国語A_観点5 言語についての 知識・理解・ 技能	国語B_観点1 国語への関 心・意欲・態度	国語B_観点2 話す・聞く能力	国語B_観点3 書く能力	国語B_観点4 読む能力	国語B_観点5 言語についての 知識・理解・ 技能	算数A_観点3 数量や図形に ついての技能	算数A_観点4 数量や図形に ついての知 識・理解	算数B_観点2 数学的な考え 方	算数B_観点4 数量や図形に ついての知 識・技能
国語A_観点2 話す・聞く能力	0.431	0.309	0.307	0.303													
国語A_観点3 書く能力	0.436	0.212	0.219	0.231	0.175												
国語A_観点4 読む能力	0.687	0.482	0.470	0.444	0.223	0.173											
国語A_観点5 言語について の知識・理解・ 技能	0.944	0.593	0.637	0.557	0.252	0.202	0.645										
国語B_観点1 国語への関 心・意欲・態度	0.492	0.790	0.477	0.519	0.240	0.163	0.367	0.463									
国語B_観点2 話す・聞く能力	0.551	0.803	0.549	0.538	0.274	0.179	0.427	0.511	0.649								
国語B_観点3 書く能力	0.565	0.900	0.555	0.579	0.272	0.189	0.430	0.529	0.878	0.658							
国語B_観点4 読む能力	0.404	0.703	0.381	0.393	0.190	0.137	0.287	0.382	0.560	0.337	0.529						
算数A_観点3 数量や図形に ついての技能	0.613	0.560	0.932	0.628	0.278	0.195	0.416	0.586	0.433	0.489	0.499	0.346					
算数A_観点4 数量や図形に ついての知 識・理解	0.618	0.588	0.897	0.616	0.286	0.207	0.449	0.582	0.442	0.519	0.521	0.353	0.677				
算数B_観点2 数学的な考え 方	0.587	0.614	0.665	0.972	0.293	0.223	0.432	0.542	0.507	0.524	0.565	0.384	0.616	0.601			
算数B_観点4 数量や図形に ついての知 識・技能	0.397	0.411	0.431	0.658	0.202	0.157	0.288	0.363	0.334	0.351	0.372	0.253	0.393	0.397	0.462		

【中学校】

	正答数_国語A	正答数_国語B	正答数_数学A	正答数_数学B	国語A_観点2 話す・聞く能力	国語A_観点3 書く能力	国語A_観点4 読む能力	国語A_観点5 言語についての 知識・理解・ 技能	国語B_観点1 国語への関 心・意欲・態度	国語B_観点2 話す・聞く能力	国語B_観点3 書く能力	国語B_観点4 読む能力	国語B_観点5 言語についての 知識・理解・ 技能	数学A_観点3 数学的な技能	数学A_観点4 数量や図形な どについての 知識・理解	数学B_観点2 数学的な見方 や考え方	数学B_観点3 数学的な技能	数学B_観点4 数量や図形な どについての 知識・理解
国語A_観点2 話す・聞く能力	0.781	0.649	0.593	0.543														
国語A_観点3 書く能力	0.730	0.607	0.548	0.492	0.556													
国語A_観点4 読む能力	0.823	0.667	0.629	0.575	0.617	0.552												
国語A_観点5 言語について の知識・理解・ 技能	0.917	0.660	0.689	0.598	0.589	0.557	0.607											
国語B_観点1 国語への関 心・意欲・態度	0.633	0.837	0.615	0.579	0.526	0.486	0.545	0.549										
国語B_観点2 話す・聞く能力	0.603	0.814	0.550	0.512	0.523	0.477	0.530	0.504	0.675									
国語B_観点3 書く能力	0.681	0.894	0.644	0.605	0.565	0.526	0.587	0.589	0.949	0.684								
国語B_観点4 読む能力	0.695	0.868	0.632	0.582	0.578	0.537	0.601	0.599	0.698	0.526	0.713							
国語B_観点5 言語について の知識・理解・ 技能	0.464	0.597	0.474	0.452	0.383	0.333	0.408	0.406	0.732	0.345	0.691	0.706						
数学A_観点3 数学的な技能	0.730	0.673	0.972	0.772	0.567	0.531	0.603	0.669	0.592	0.527	0.618	0.610	0.452					
数学A_観点4 数量や図形な どについての 知識・理解	0.719	0.668	0.942	0.780	0.572	0.517	0.605	0.650	0.589	0.530	0.618	0.603	0.459	0.837				
数学B_観点2 数学的な見方 や考え方	0.572	0.554	0.702	0.942	0.470	0.407	0.495	0.506	0.511	0.439	0.529	0.500	0.412	0.659	0.696			
数学B_観点3 数学的な技能	0.613	0.581	0.752	0.811	0.488	0.457	0.519	0.547	0.516	0.463	0.539	0.523	0.401	0.735	0.702	0.612		
数学B_観点4 数量や図形な どについての 知識・理解	0.492	0.476	0.506	0.563	0.380	0.391	0.405	0.442	0.377	0.370	0.410	0.418	0.245	0.500	0.466	0.365	0.430	

イ 学力調査と質問紙調査との間に見られる相関

(7) 小学校

a 学力調査と児童質問紙調査

学力調査と強い相関がある調査項目は見られない。相関係数が0.3以上の調査項目は次のとおりである。算数A及び算数Bにおいて、算数の学習習慣や本調査への取組状況等との間に弱い相関が見られる。

※ () 内の数値は相関係数の絶対値

国語A正答数	○「89 調査問題の解答時間は十分だったか(国語A)」(0.313)
国語B正答数	(該当なし)
算数A正答数	○「78 算数の勉強は好き」(0.350) ○「80 算数の授業の内容はよく分かる」(0.393) ○「82 算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」(0.313) ○「86 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」(0.319) ○「88 今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、それらの問題について、最後まで解答を書こうと努力した」(0.318) ○「91 調査問題の解答時間は十分だったか(算数A)」(0.325)
算数B正答数	○「78 算数の勉強は好き」(0.321) ○「80 算数の授業の内容はよく分かる」(0.352) ○「82 算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」(0.305) ○「88 今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、それらの問題について、最後まで解答を書こうと努力した」(0.328)

b 学力調査と学校質問紙調査

全ての項目で相関係数の絶対値が0.11以下で、学力調査と相関のある学校質問紙調査項目は見られない。

(イ) 中学校

a 学力調査と生徒質問紙調査

相関係数の絶対値が0.3以上の調査項目は次のとおりである。小学校と同様、学力調査と強い相関がある調査項目は見られなかったが、数学A及び数学Bにおいて、数学の学習習慣や学習意欲、本調査への取組状況等との間に弱い相関が見られる。

国語A正答数	◎「79 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力した」(0.410)
国語B正答数	◎「79 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力した」(0.433)
数学A正答数	<p>○「15 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をする（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」(0.348)</p> <p>○「16 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をする（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」(0.331)</p> <p>○「23_4 放課後に、学習塾など学校や家以外の場所で勉強して過ごすことが多い」(0.321)</p> <p>○「79 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力した」(0.391)</p> <p>○「80 数学の勉強は好き」(0.333)</p> <p>○「82 数学の授業の内容はよく分かる」(0.353)</p> <p>◎「84 数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」(0.402)</p> <p>○「88 数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしている」(0.344)</p> <p>◎「90 今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力した」(0.433)</p>
数学B正答数	<p>○「79 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力した」(0.373)</p> <p>○「80 数学の勉強は好き」(0.310)</p> <p>○「82 数学の授業の内容はよく分かる」(0.318)</p> <p>○「84 数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」(0.369)</p> <p>○「88 数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしている」(0.325)</p> <p>◎「90 今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力した」(0.426)</p>

◎…相関係数が0.4以上

b 学力調査と学校質問紙調査

全ての項目で相関係数の絶対値が0.15以下で、学力調査と相関のある学校質問紙調査項目は見られない。

ウ 質問紙調査の項目間に見られる相関

(7) 小学校

a 学校質問紙調査の項目間

前年度までの小学校教育と中学校教育の連携について、「76 近隣等の中学校と教育目標を共有する取組を行った」「77 近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行った」「78 近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った」の間で、強い相関が見られる。

また、教職員の取組について、「109 学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有している」と「110 学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいる」の間でも強い相関が見られる。

b 学校質問紙調査と児童質問紙調査の項目間

全ての項目間の相関係数の絶対値が0.11以下で、相関のある調査項目は見られない。

c 児童質問紙調査の項目間

児童質問紙調査の項目間において、強い相関がある調査項目は見られなかった。児童質問紙調査の項目間では、近接している項目同士は比較的関連した内容であることが多く、相関が強くなっている。相関係数の絶対値が0.55以上のものは以下のとおりである。

① 学習習慣

平日と休日の学習時間、予習と復習の習慣に相関が見られる。

- 「15 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」と「16 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」(0.624)
- 「31 家で、学校の授業の予習をしている」と「32 家で、学校の授業の復習をしている」(0.611)

② 算数の学習

学習意欲に関する項目間で相関が見られる。

- 「78 算数の勉強は好き」と「80 算数の授業の内容はよく分かる」(0.642)
- 「78 算数の勉強は好き」と「81 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う」(0.630)
- 「80 算数の授業の内容はよく分かる」と「81 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う」(0.558)
- 「81 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う」と「82 算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」(0.558)

(イ) 中学校

a 学校質問紙調査の項目間

前年度までの小学校教育と中学校教育の連携について、「75 近隣等の小学校と教育目標を共有する取組を行った」と「77 近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った」の間で強い相関が見られる。

b 学校質問紙調査と生徒質問紙調査の項目間

全ての項目間の相関係数の絶対値が0.15以下で、相関のある調査項目は見られない。

c 生徒質問紙調査の項目間

生徒質問紙調査の項目間では、小学校同様、近接している項目は、比較的関連した内容であることが多く、相関が強くなっている。相関係数の絶対値が0.55以上のものは以下のとおりである。

① 学習習慣

平日と休日の学習時間・読書時間、予習と復習の習慣に相関が見られる。

- 「15 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」と「16 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」(0.635)
- 「18 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をするか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」と「74 読書は好き」(0.554)
- 「33 家で、学校の授業の予習をしている」と「34 家で、学校の授業の復習をしている」(0.563)

② 学校生活

部活動に関する項目の他、「学校に行くのは楽しい」と「友達に会うのは楽しい」の間で相関が見られた。

- ◎「20 学校の部活動に参加している」と「21 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、部活動をするか」(0.730)
- ◎「20 学校の部活動に参加している」と「23_1 放課後に学校の部活動に参加して過ごすことが多い」(0.774)
- 「20 学校の部活動に参加している」と「24_2 土曜日の午前は学校の部活動に参加して過ごすことが多い」(0.676)
- ◎「21 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、部活動をするか」と「23_1 放課後に学校の部活動に参加して過ごすことが多い」(0.724)
- 「21 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、部活動をするか」と「24_2 土曜日の午前は学校の部活動に参加して過ごすことが多い」(0.614)
- 「35 学校に行くのは楽しいと思う」と「36 学校で、友達に会うのは楽しいと思う」(0.556)

◎…相関係数0.7以上

③ 社会への関心

地域や社会への関心、外国への関心と留学や国際的な仕事への就業との間で相関が見られる。

- 「43 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」と「44 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」(0.564)
- 「49 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う」と「50 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと思う」(0.614)

④ 1、2年生の授業等について

課題への取組と自分の考えを伝えること等との間で相関が見られる。

- 「57 1、2年生のときに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思う」と「61 1、2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思う」(0.567)
- 「60 1、2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思う」と「61 1、2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思う」(0.578)
- 「61 1、2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思う」と「62 1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う」(0.598)
- 「68 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思う」と「69 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思う」(0.621)

⑤ 国語の学習

学習意欲に関する項目等との間で相関が見られる。

- 「72 国語の勉強は大切だと思う」と「75 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」(0.578)
- 「76 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」と「77 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」(0.585)
- 「77 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫

している」と「78 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている」(0.647)

⑥ 数学の学習

学習意欲に関する項目等との間で相関が見られる。

- 「80 数学の勉強は好き」と「82 数学の授業の内容はよく分かる」(0.590)
- 「81 数学の勉強は大切だと思う」と「86 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」(0.667)
- 「84 数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」と「88 数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしている」(0.551)

(2) 平成29年度奈良県調査

学力調査、児童生徒質問紙調査、教員質問紙調査の各項目間の相関関係を調べた。

ア 学力調査の教科間に見られる相関

(7) 学力調査の教科間の相関係数

相関係数が0.49以上で相関が見られるものの、強い相関があるのは算数(数学)基礎と算数(数学)活用の間のみである。

【小学校】

	国語基礎	国語活用	算数基礎	算数活用
国語基礎				
国語活用	0.607			
算数基礎	0.678	0.496		
算数活用	0.695	0.523	0.725	

※数値は相関係数

【中学校】

	国語基礎	国語活用	数学基礎	数学活用
国語基礎				
国語活用	0.687			
数学基礎	0.680	0.578		
数学活用	0.631	0.553	0.749	

※数値は相関係数

(イ) 各調査の正答数と各領域間との相関係数

各調査の正答数と各領域との間の相関を調べた。

同じ科目間で強い相関が見られる。また、小学校の国語基礎の正答数と算数の「数と式」及び「資料の活用」、中学校の国語基礎の正答数と数学の「関数」及び「資料の活用」、国語活用の正答数と数学の「資料の活用」、数学基礎の正答数と国語の「伝統的な言語文化と国語の特質に

関する事項」の間に相関が見られる。(各領域については、p. 37参照)

【小学校】

	国語				算数			
	領域1	領域2	領域3	領域4	領域1	領域2	領域3	領域4
国語基礎 正答数	0.599	0.764	0.750	0.822	0.661	0.577	0.483	0.673
国語活用 正答数	0.709	0.482	0.611	0.554	0.477	0.434	0.358	0.511
算数基礎 正答数	0.465	0.440	0.540	0.619	0.929	0.841	0.678	0.732
算数活用 正答数	0.468	0.545	0.559	0.563	0.746	0.633	0.529	0.947

【中学校】

	国語				数学			
	領域1	領域2	領域3	領域4	領域1	領域2	領域3	領域4
国語基礎 正答数	0.705	0.762	0.759	0.838	0.601	0.542	0.624	0.663
国語活用 正答数	0.765	0.536	0.688	0.648	0.590	0.528	0.605	0.644
数学基礎 正答数	0.532	0.469	0.543	0.643	0.848	0.713	0.853	0.900
数学活用 正答数	0.500	0.474	0.515	0.560	0.662	0.729	0.713	0.795

イ 学力調査と質問紙調査との間に見られる相関

(7) 小学校

a 学力調査と児童質問紙調査

全ての項目間の相関係数の絶対値が0.324以下で、相関のある調査項目は見られない。相関係数が0.3以上である項目は、「国語基礎の正答数」と「49 国語のじゅ業の内ようはよく分かる」(0.300)、「算数基礎の正答数」と「57 算数のじゅ業の内ようはよく分かる」(0.324)である。

b 学力調査と教員質問紙調査

全ての項目で相関係数の絶対値が0.09以下で、学力調査と相関のある調査項目は見られない。

(イ) 中学校

a 学力調査と生徒質問紙調査

学力調査と強い相関がある調査項目は見られない。相関係数の絶対値が0.3以上の調査項目は次のとおりである。数学基礎及び数学応用と数学に対する学習意欲の間に弱い相関が見られる。

国語基礎	(該当なし)
国語活用	(該当なし)
数学基礎	<ul style="list-style-type: none"> ○「7 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか(学習じゅくで勉強している時間や家庭教師に教わっている時間もふくむ)」(0.303) ○「55 数学の勉強は好き」(0.375) ○「57 数学の授業の内容はよく分かる」(0.381)

数学活用	○「55 数学の勉強は好き」(0.326) ○「57 数学の授業の内容はよく分かる」(0.316)
------	------------------------------------------------------

b 学力調査と教員質問紙調査

全ての項目で相関係数の絶対値が0.145以下で、学力調査と相関のある調査項目は見られない。

ウ 質問紙調査の項目間に見られる相関

相関係数の絶対値が0.55以上のものは次のとおりである。ただし、国語・算数（数学）の学習以外の項目、体力・保健・食育に関する項目、教員個人に関わる項目を除いた。

(7) 小学校

a 教員質問紙調査の項目間

「10 学校では、児童に地域や社会で起こっている出来事や問題を話題にしている」と「11郷土の自然や文化、人々との触れ合いを生かした指導をしている」(相関係数0.504)に相関が見られるほかは、相関係数の絶対値が0.5以下であり、相関がある項目は見られない。

b 児童質問紙調査の項目間

規範意識、学習意欲に関する項目で相関が見られる。

○「27 人の役に立つ人間になりたいと思う」と「28 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」(0.569)
○「51 国語のじゅ業で分からないところがあれば、先生にしつ問している」と「59 算数のじゅ業で分からないところがあれば、先生にしつ問している」(0.686)
○「52 国語のじゅ業では、きちんとノートをとっている」と「60 算数のじゅ業では、きちんとノートをとっている」(0.573)
○「55 算数の勉強はすき」と「57 算数のじゅ業の内ようはよく分かる」(0.558)

(イ) 中学校

a 教員質問紙調査の項目間

「19 全国及び奈良県学力・学習状況調査の本校の質問紙調査の結果を踏まえた指導をしている」と「20 全国及び奈良県学力・学習状況調査の結果を自分の授業に生かしている」(相関係数0.504)に相関が見られるほかは、相関係数の絶対値が0.5以下であり、相関がある項目は見られない。

b 生徒質問紙調査の項目間

学習意欲に関する項目等で相関が見られる。

○「7 学校の授業時間以外に、ふ段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか（学習じゅくで勉強している時間や家庭教師に教わっている時間もふくむ）」と「8 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか（学習じゅくで勉強している時間や家庭教師に教わっている時間もふくむ）」(0.600)
○「11 家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と「12 家では、時間を決めて勉強

している」(0.612)

- 「10 学校の授業時間以外に、ふ段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をするか（教科書や参考書、まん画や雑誌は除く）」と「54 読書は好き」(0.566)
- 「27 人の役に立つ人間になりたいと思う」と「28 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」(0.565)
- 「51 国語の授業で分からないところがあれば、先生に質問している」と「59 数学の授業で分からないところがあれば、先生に質問している」(0.691)
- 「52 国語の授業では、きちんとノートをとっている」と「60 数学の授業では、きちんとノートをとっている」(0.598)
- 「53 国語の宿題はきちんとしている」と「61 数学の宿題はきちんとしている」(0.595)
- 「73 自分が友達からどう思われているか気になる」と「74 自分が上級生からどう思われているか気になる」(0.655)